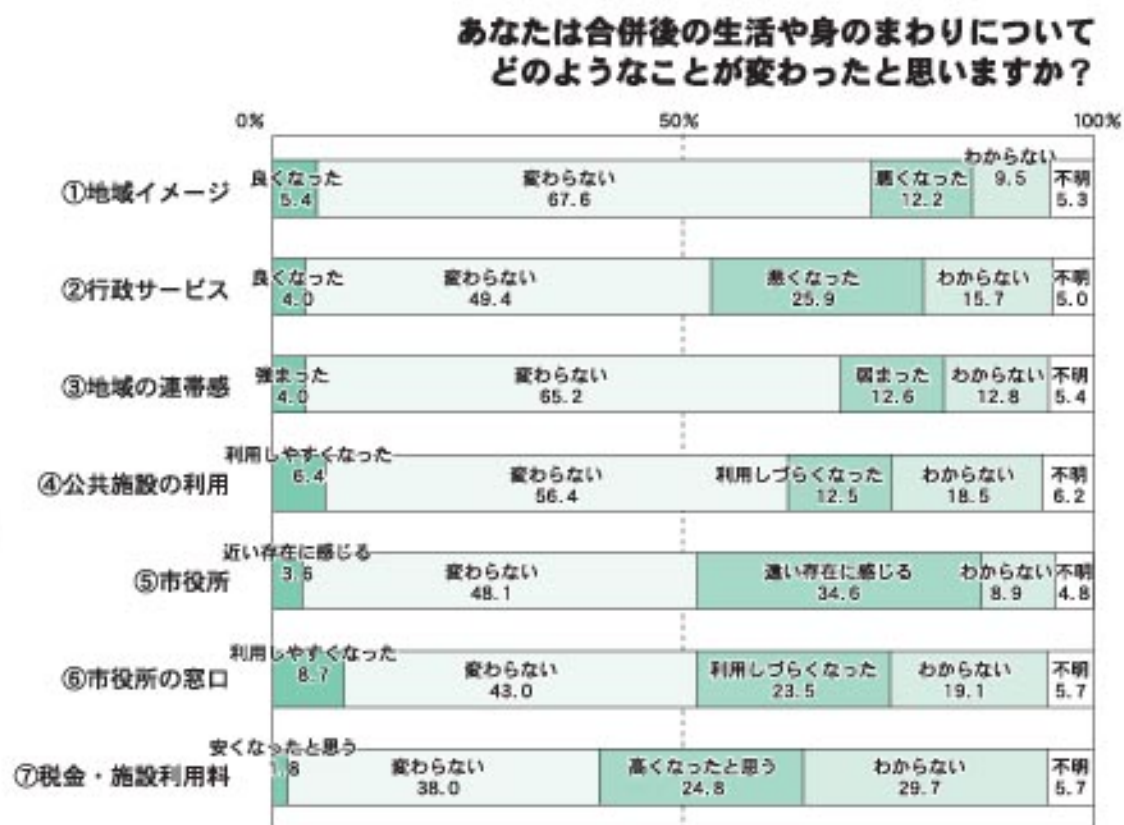


アンケートへご協力いただいた皆さま、たいへんありがとうございました。

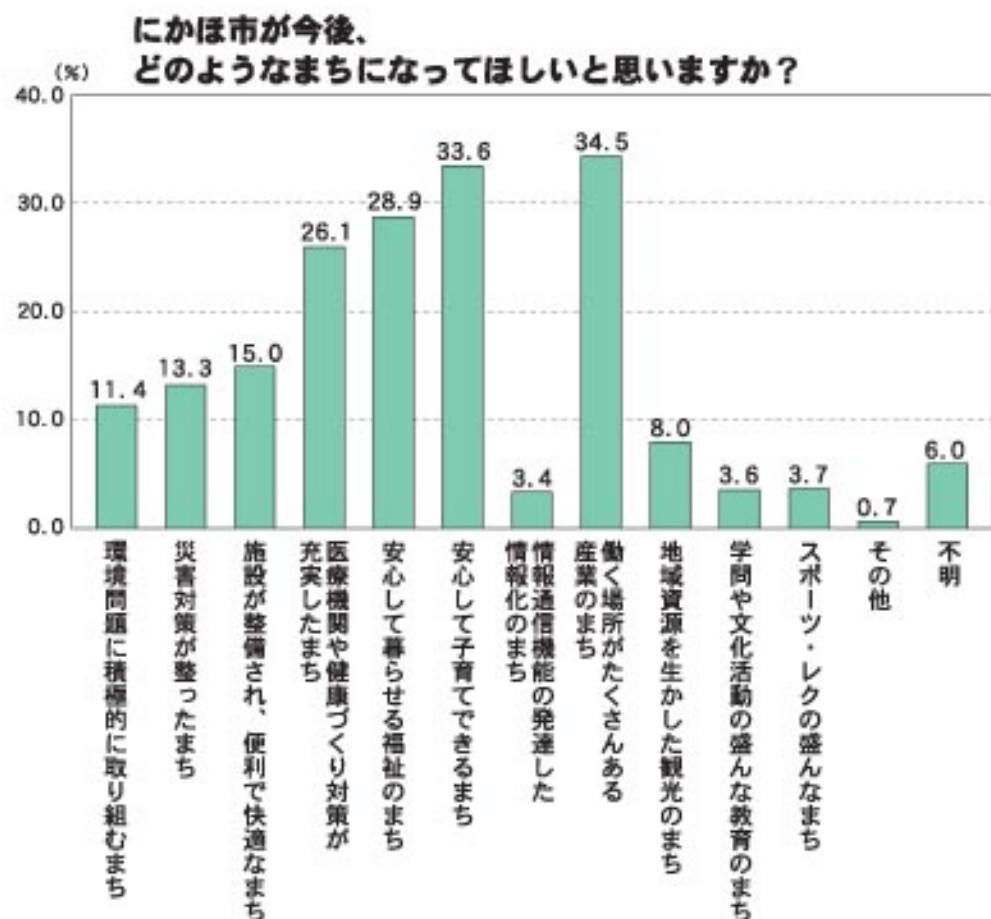
「変わらない」「わからない」という回答が多く、現段階では、合併の効果や影響を具体的に実感できないことがうかがえます。

●合併後の評価



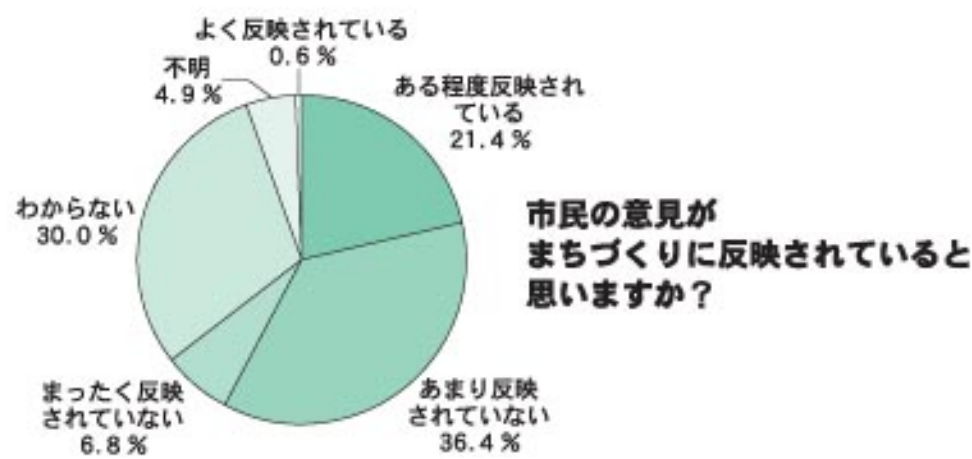
20代では、市役所窓口が「利用しやすくなった」という回答割合が、逆に40代以上では、市役所が「遠い存在に感じる」という回答割合が、他の年代よりも高くなっています。

●にかほ市の未来への展望



望ましい市の将来像として、全体では「働く場所がたくさんある産業のまち」が最も多く、次いで「安心して子育てできるまち」、「安心して暮らせる福祉のまち」と続きます。

年代別では、20代・30代で「安心して子育てできるまち」の回答割合が約半分と圧倒的に高く、40代から60代では「働く場所がたくさんある産業のまち」が、70歳以上では「安心して暮らせる福祉のまち」が最も多い回答でした。



協働のまちづくり  
回答者の約4割は、市民の意見がまちづくりに反映されていないと考えており、3割は「わからない」という回答結果になりました。

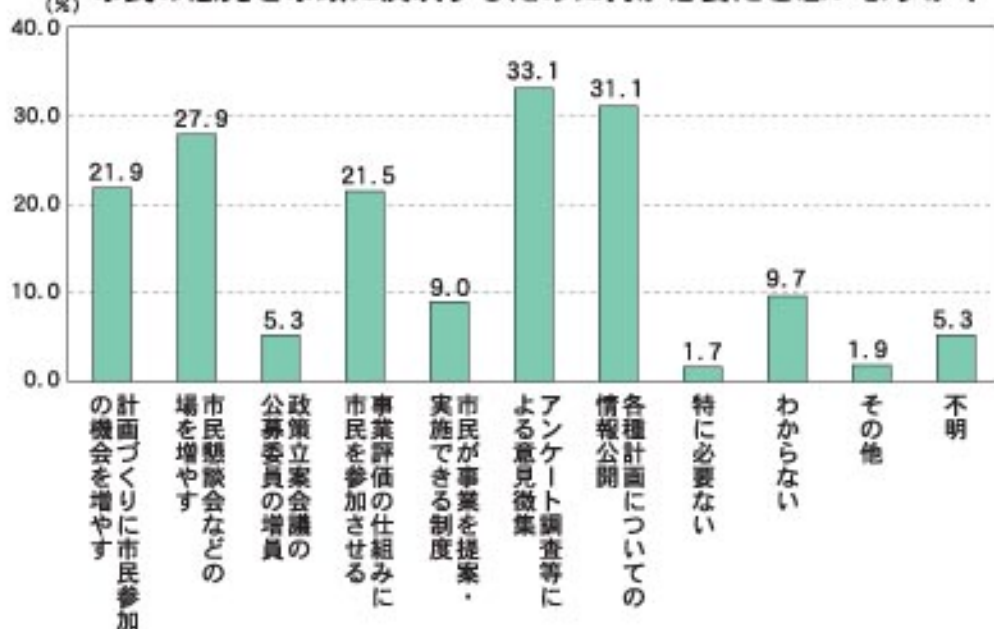
あなたはどのようにしてまちづくりに参画することができますか？



年代別にみると、20代から60代までに「よく反映されている」と回答した人はいませんでした。また、20代、30代、50代では3割を超える人々が「わからない」と回答しています。

必要なのは「アンケート調査等による意見徴集」や「各種計画の情報公開」、「市民懇談会などの機会を増やす」といった声が多いほか、若い世代においては、「事業評価への住民参加」という回答も多く、今後新たな

市民の意見を市政に反映するために何が必要だと思いますか？



行政との関わり方を望んでいることがうかがえます。また、グラフにはありませんが、地域活動をするうえで望まれる行政の具体的支援として、「活動費の援助」を求める声が多くなっています。